



midori

碧 姫

HIME

成年向



midori **碧姫** HIME

鈴木考樹



ガクテンオー……

教授……
あたし……



命ちゃんに
負けて……

そうだ……



チュ

教授……うん



教授!



なにっ!?



なっ

ザッ
ザッ
ザッ



ハッ
ハッ

!?ひっ



教授!

お目覚めですか
杉浦先生

あんたははっ

おや
意外に寝覚めは
いいんですね

それでは早速
取り掛かりましょうか

なっ……!!

ひっ!?

や・・・やっぱり
あんたが黒耀の君
だったのね

でも・・・なら
脱落したあたしには
用はないはずでしょう？

それはですね
杉浦先生

あなたは少々
やりすぎた・・・

そしてこれからも
それを続けかねない

いくなればこれは
ペナルティですよ

そうそうホント
正義の味方だからって
好き勝手してくれちゃって

逸れそうになった
路線を元に戻すのに
どれだけ苦労したか



「……さん!?!」

「ピュ」

「ピュ」

「ピュ」

「はっ」

「あ」

「はっ」

「は……」



「……!」

「今はただの人形です」

「彼女はもう
僕の手の
中にある」



「無駄ですよ」



「……さん?」



もつとも最初は
抵抗されましたけどね



色々と
技能も持っている
ようでしたし



今では僕たちの
ために働いて
もらっていますよ

そんな……



あふ





は...
離さない

やめっ

フフフ...

杉浦先生にも
素直になつて
もらいますよ



いやっ



ひっ?



いやっ
そっちはっ

意地をはっても
無駄ですよ



いやっ



やはり胸の方が
好きですか?

ああっ

さすがは誇り高い
正義のH i M E
簡単には堕ちませんか

当たり前でしょ
誰がそんな……

ゲニ

ゲニ
ほう

では少々荒っぽく
した方が良いでしょうですね

ユウウウ

痛ッ

ガニッ

ああっ

キョッ





やっ
やめてっ

痛いつからっ

キュウ

いたっ

ああっ



正義のHiMEが
敵にお願いですか？

胸もこんなに
張っていますよ

ふあ

なっ

はあう



弾力で指を
押し返してきますよ

はひっ

胸まで僕に
抵抗しようと必死だ

ギョウ

あああああああ



はあっ

もうこんなに
熱くなって・・・
指の間から
溶け落ちそうですよ

言わないで

しゅん

お願いだからっ

フフ

わかりました
では止めましょう

はっ

なっ
なに？

それでは先生の願いを
聞くかわりに・・・

僕の願いも
聞いてもらいましょうか

ヒッ



そつ

それだけは駄目!

うあつ

それだけは駄目よ!

おや、
それほど忌み嫌われる
こともないでしょう



H i M E と黒耀の君の
これは古来からの
儀式なのですよ



フフフ
さすがお詳しい

そつそれは
最後に勝ち残った
H i M E とでしょ!

ひあつ

これは先生への
制裁と……

なっ

僕にとつての
慣らし運転の
ようなものですよ

グイ

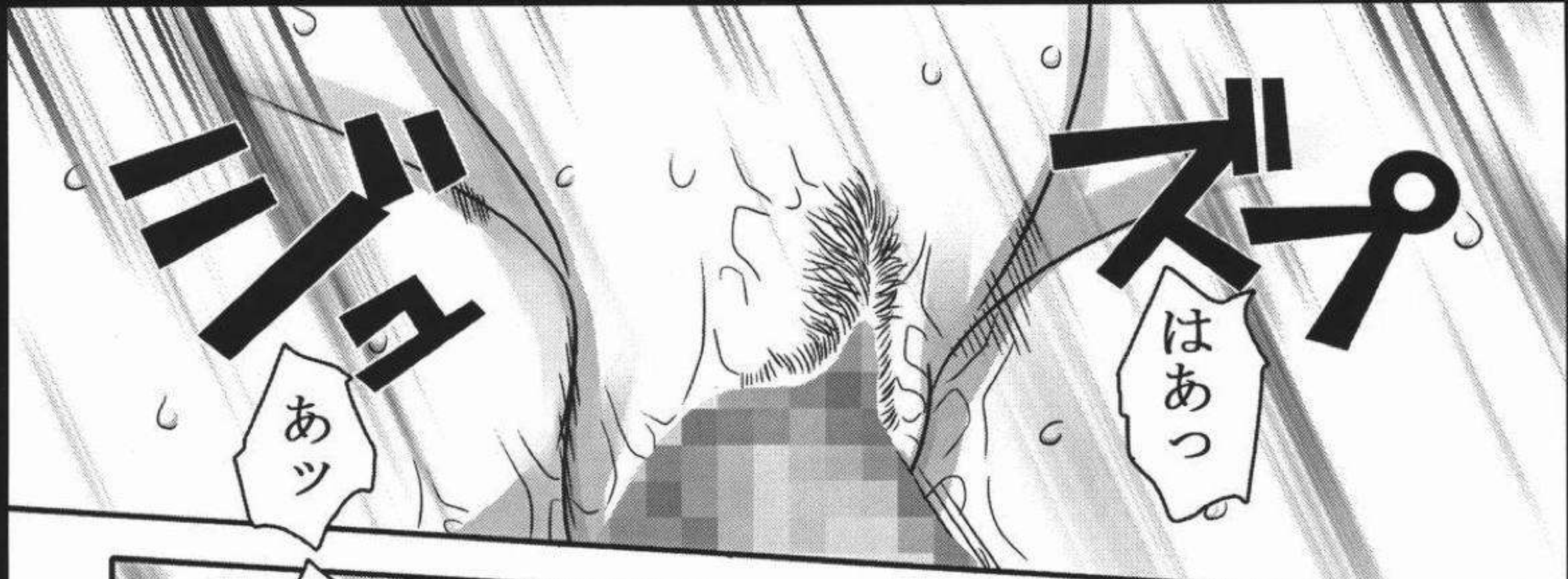
そんなっ

あ

ああ!

三千平

いやあああああ





はあっ



ヌ

そうそう、先生は胸が
お気に入りでしたね



はあ

ヌ

はッ



むっ胸はっ

ヌ

胸やッ

はっ

はふあ

そうですねかやっぱり
胸がお好きですか

はあああああ

ヌ





先生のここがぐいぐい
締め付けてきますよ

パッパッ



ふあ

フフフ、
さすがにいいものを
持っていてらっしゃる

あ



あふあ

あっは



はッ

ふっ

クッ

クッ

深ッ

クッ

あ!

あはあっ!

クッ



あッ

ふあッ

はッ

はふあ



さて、そろそろ
儀式も終局です

HIMEと黒耀の君は
力をあわせて
新しい世界を作る

はッ



はひッ

先生が調べていた
儀式の秘奥を
体験できるんですよ



どうですか？
素晴らしいでしょう

いやあ



だめッ

そんなッ

やめッ

だめええええ

はああ

あ

は
・
・
・

ッはう



で、文永の役ツン
弘安の役と元軍をツ
退けたん、だけど――

元寇ではッあ、新しく
領地を得たわけじゃ
なかった、から――

あはッ



いっいやっ

やめてっ



ここからは
ゲームだよ
碧ちゃん

お仕置きも
終わったしねー



ああッ

それを無理にとろうと
すると大変なことに
なるからねー

はあああ!

それで授業の時に――

北条時宗
の侍

恩賞にツ関して、う悶着が
起こった、のね

ほら、バイトで着てた
あの格好で・・・

み、
碧ちゃん・・・？

だ・・・
大丈夫なの？

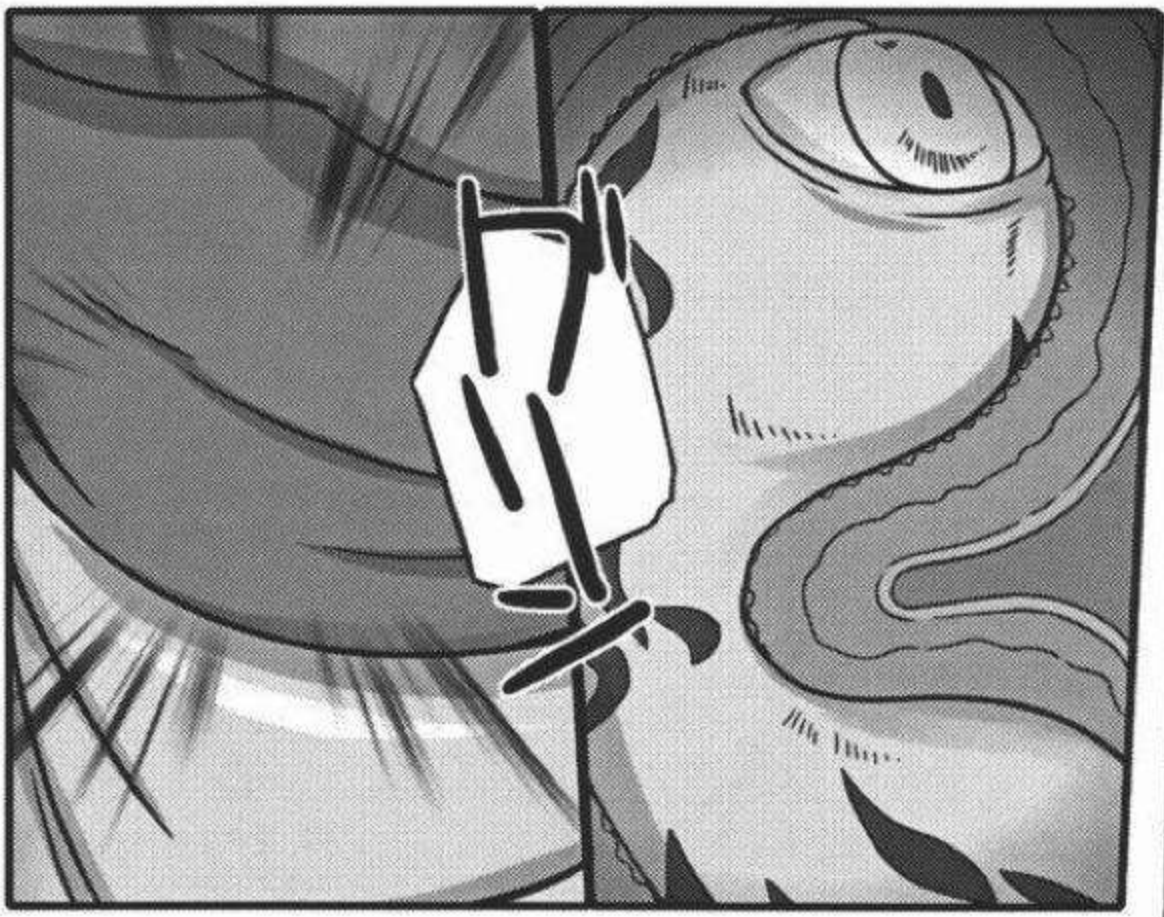
へーキへーキ
舞衣ちゃん
大丈夫だから！

なんて言った
けど・・・

下着も着けるななんて・・・
これじゃただの
痴女じゃない・・・

ヌキ...

視線が・・・あ





大丈夫です・・・か!?



やッ

あはッ

お・・・おい

ゴクッ





ひいっ

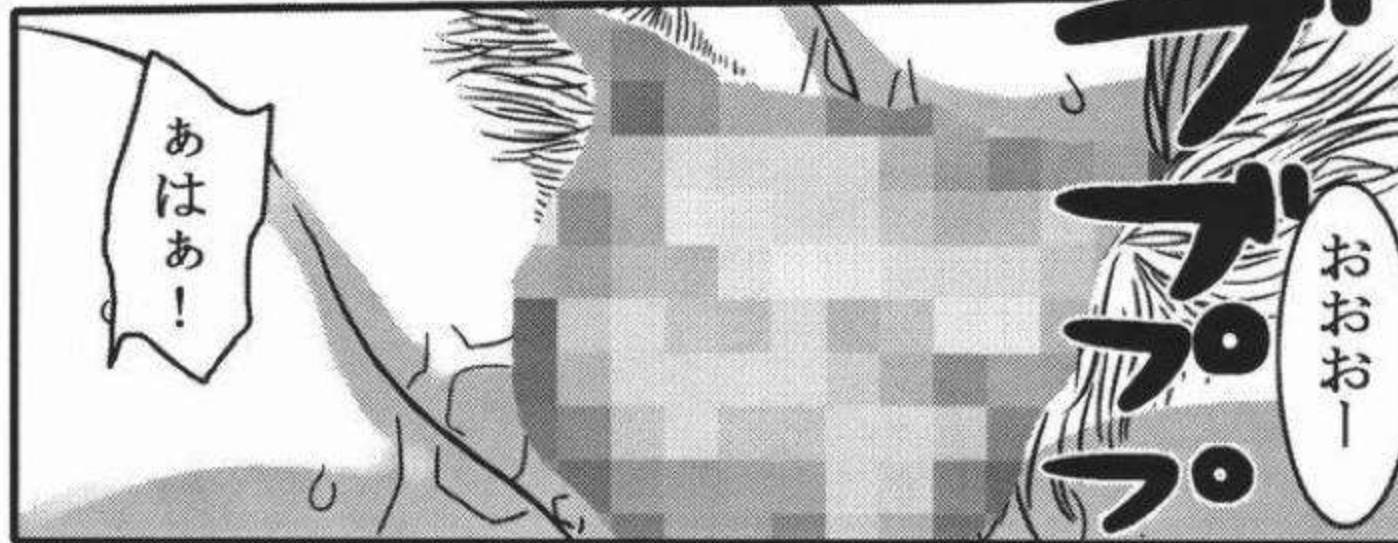


じゃあ
まず俺からな

いやっ

順番だぞ

ゴッ
ゴッ



ブッ
ブッ
ブッ

おおおー

あはあ!



ア
ア
ア

あっ

だめ!

やめなっあ
さいっ

こりやいいぜ・・・
中も外見のエロさ
そのままだ

ズ
ズ
ズ



うあ

オラ

マ○コドロドロに
してなに言ってるんだよ!

はああっ

ズ
ズ
ズ



こんなつ

ほらっ

へへっ
すごい気持ちいいぜ

いやあつ

碧ちゃん最高!

はッ

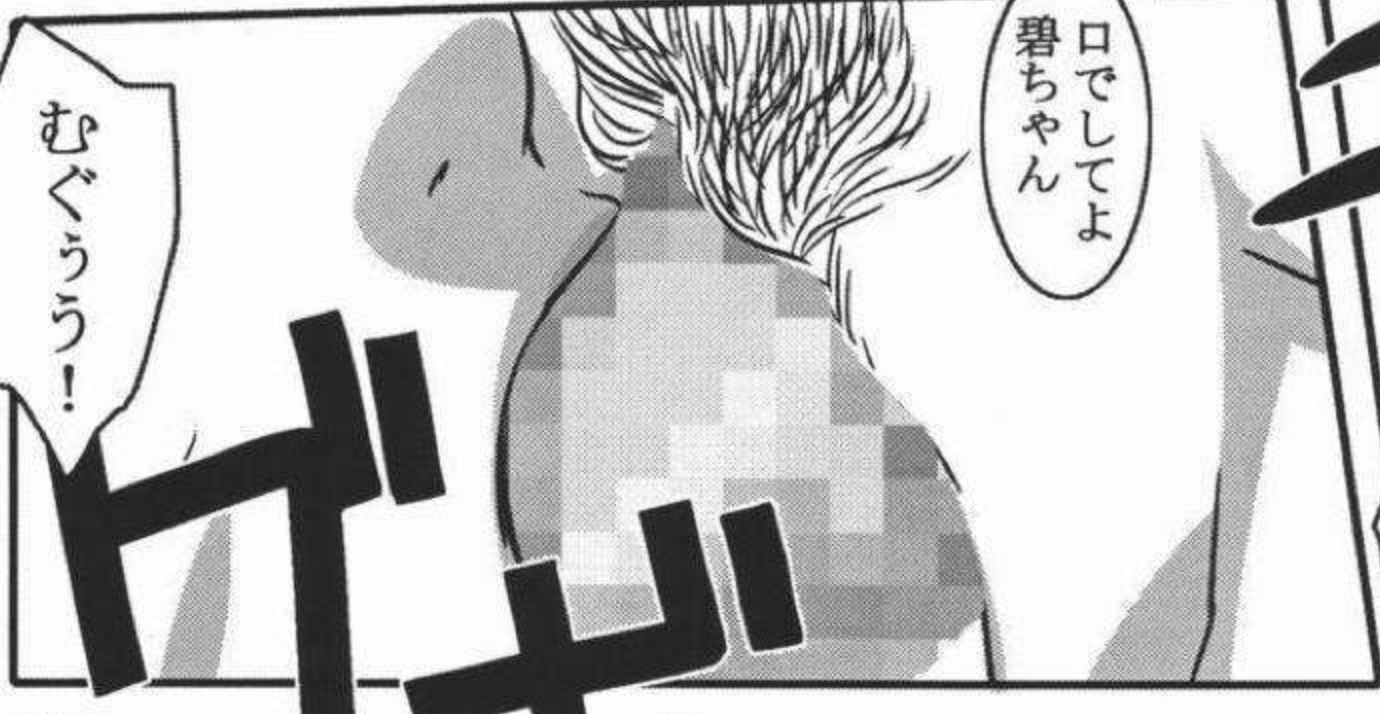


あーもう
我慢できねえ

なッ



胸もすごいしな



口でしてよ
碧ちゃん

むぐうう!

出た出た

すげえよかったぜ
碧ちゃん

アッ

次俺な

ちよつと
ひっくり返せよ

はあっ

ホイ

ガッ

一度ケツ穴でやって
みたかったんだよね

アッ

そっ
そこはっ

おらあ!

うああああっ





もうやめ
やめてえ!

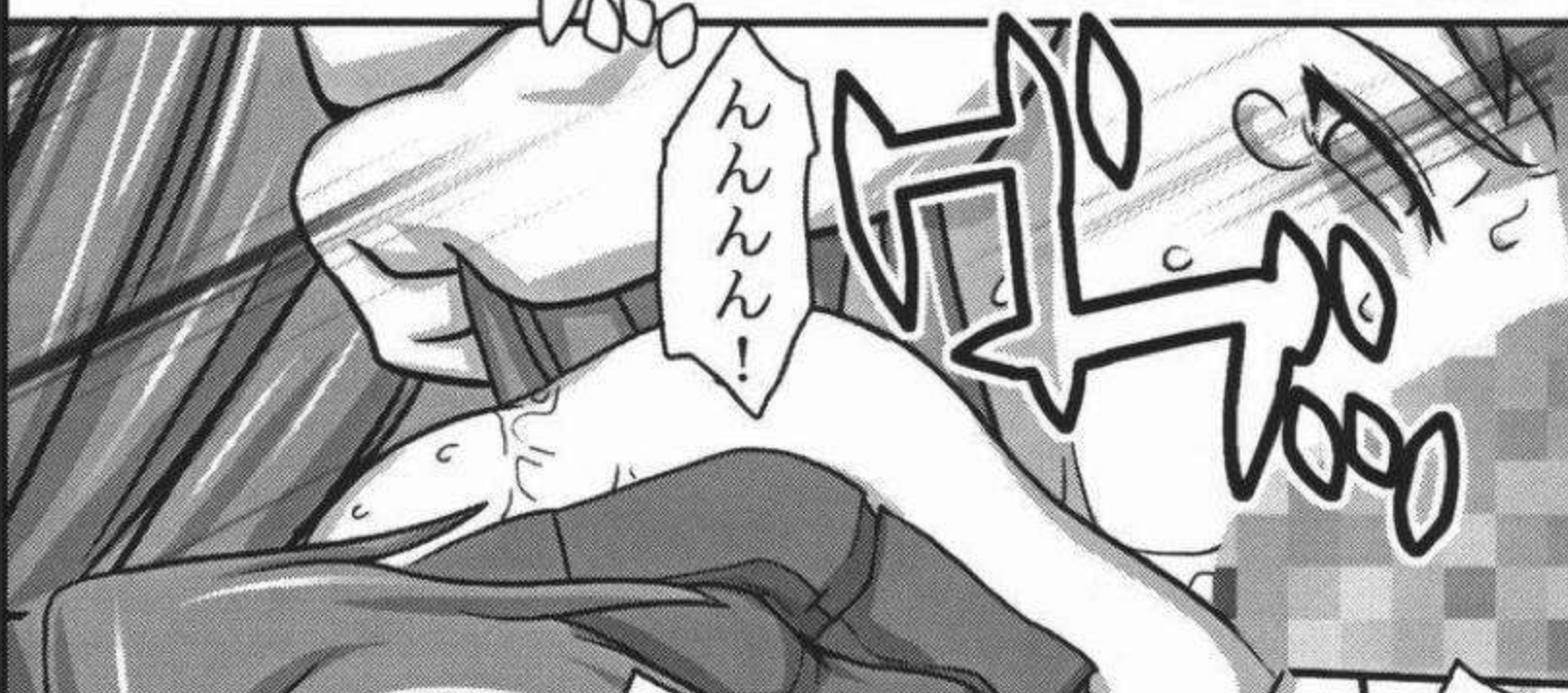
はああ

ふあああ

じゃあ
空いてる前は
俺な

ゲッ

はがっ



んんんん!

ほら、
こっちもだよ



ぶ

うぐう

むぐうう

あたしは...

んぶっ

ア

うぐう



うぐう





出るっ

ビュビュビュ

おー出る出る

俺も

ピュ

ピュ

ピュ

すげー
精液まみれ

はッ

ごほっ

まだやりたい奴いるか？

隣のクラスの奴も
呼んでこいよ

高

あたしは……

あは……あ

正義の……
H i M E ……

●この度はお買い上げありがとうございます
ご満足いただけたら幸いです。

●えー、これを書いている時点ではまだ完成してません！
表紙とセリフ入れが残ってます。
なんというかアレです。修羅場風味。
なのでいつもに増して支離滅裂です—————。

●舞ー HiME いいですね。エロス。
碧ちゃん以外にもいいなーと思うキャラがわさわさいますし。

●最終回はちょっと・・・と思いましたが。

●しかしメディアミックスにはトンとついていけなくなりました。
ラジオとか小説版とかゲーム版とか全然興味がわかりません。
よる年波が・・・。

●で、ゾイドのアレっぷりなんですけど・・・
いやほんとゾイドの前が響鬼さんだけに・・・ツマヤ。
コト姉だけが頼りです。

●今回一杯一杯だったのでJDDを見に行けず。
同人製作は計画的に。

●次は・・・続けて舞ー HiME に行くかー古いので行くかーと思案してます。
しばらく図書館でマターリしつつ考えることにしまつ。

●それでは今後ともどうぞよろしく願いいたします。



●奥付

発行人 鈴原考樹

初版 2005年8月14日

印刷製本 株式会社ポプルス

無断複製転載禁止
十八歳未満の者の購入・閲覧禁止



碧姬

midori

HIME